



檀本673 存仁寺

ほうきさん 2014年 4月

一切は

縁によつて

生れ

縁において

あり

縁において

去つていく

「宮城 顛」

— すくわれる喜び —

私どもの活動は、み教えに出遇い、煩惱熾盛の凡夫である私
が、阿弥陀如来さまの本願力によつて信心をめぐまれて、お念
仏申す人生を歩む身にならせていただいた喜びと感謝から出発
しました。九條武子様は『無憂華』の『慈善』と題された文に、
被災者に対する支援活動は、単に衣食住に対する支援だけでは
ない、と示された上で次のような一節を書かれています。「ま
ことの救済は、ただ生活の意義を見出さしむるにある。しこう
して自らの生活を省み、これを育み、向上せしめるのは、如実
なる信仰の体験を描いて何ものもない。このゆえに、教化に伴
わない社会事業が、意かに多く簇生しても、この地上の社会生
活は、所詮満ち足らえるときがないであろう。」（『無憂華抄』
九七頁）今でいう「生きる力」「人間に生まれた意義」を得てい
ただくような援助こそ大切だとお述べです。そしてそれは、阿
弥陀如来さまの智慧を仰ぎ、お慈悲に包まれていることに気づ
かせていただいた今です。阿弥陀如来さまの願いは、すべての
衆生にかけられております。「この無常菩提心は、願作仏心（が
んさぶつしん）すなわち仏になろうと願う心である。この願作仏
心はそのままだ衆生心（どしゅじょうしん）である。度衆生心と
は、衆生を摂め取つて、阿弥陀仏の浄土に生まれさせる心であ
る。」（『顕浄土真実教行証文類・現代語版』一二五頁）とお示
しです。阿弥陀如来さまの本願のおはたらきによつていただい
た、私が浄土に生まれて仏になると願う心、その中には他の人
と共にという心が含まれております。「南無阿弥陀仏」とお念
仏申しつつ、阿弥陀如来さまにお浄土に救われる喜びを、多く
の人々と分かち合いたいものです。 機関紙「めぐみ」
仏教婦人会総連盟総裁 大谷範子お裏方様より

福沢諭吉さんはご存知でしょうか。幕末から明治にかけて武士道や蘭
学者、教育者でもあり、そして慶應義塾大学の創設者でもあります。
三〇年前から聖徳太子に代わり一万円札に登場しました。中津は浄土
真宗の土徳の地。真宗門徒であつたことから蓮如上人の「御文章」を
大切にされた方でもあり、豊前の学僧であつた七里恒順和上とも懇意
にされていたそうです。後に有名な「天は人の上に人をつくらず、人
の下に人をつくらず」という名句を著わされたことは、お釈迦様が誕
生されると、七歩あゆまれて『天上天下唯我独尊・三界皆苦我当安之』
と、右手を天に、左手を地に示し、高らかにうたわれたことを味わつ
ておられたことからでしょう。自分だけが偉いというのではなく、「今
賜わったいのちは何にも代え難く、宇宙の存在の中たつた一つだけの
かけがえない我がいのちである。そして、いのちは皆平等である」
と教えられたのです。四月は花の季節です。同じように今ここにあな
たのいのちも、私のいのちも咲いています。四月八日は「はなまつり」
お互いが生きることの尊さを味わってまいりましょう。

「一切は 縁において生まれ 縁において去つていく」

お釈迦様の教えを要略した「因縁法頌」とよばれるものに、「諸
のものは因縁によつて生じ、因縁によつて滅す」という言葉があ
ります。私たちは、不思議な因縁によつて生まれ、因縁の中で
歳を重ね、どこか病みながら、臨終の一念を迎えるのです。この
「生・老・病・死」こそが私のいのちの姿なのですが、このことを
自覚しているでしょうか。「一期一会」という言葉がありますが、
人との出会いに限らず、私たちの毎日のいのちの営みはすべて「一
期一会」のご縁なのです。私たちの計らいを越えた不思議な因縁に
よるものなのです。それを自覚してこそ、いのちとそこであいを大
切にすることができ、有難く尊いものだと思つかせていただきます。
二〇一四年法語カレンダー ―「心に響く言葉」より

4月の行事

1日(火) 6時30分 おあさじ

2日(水) 19時30分 コーラス



6日(日) 鈴鹿組はなまつり 10時専念寺様

7日(月) 13時30分

無量寿会花まつり・総会

16日(水) 6時30分 おあさじ

26日(土) 春季永代経法要



27日(日) 春季永代経法要 世話方会

5月の行事



1日(木) 6時30分 おあさじ

6日(火) 9時 鈴鹿組組会 関ロジ

7日(水) 19時30分 コーラス

15日(木) 13時30分 無量寿会例会

16日(金) 6時30分 おあさじ

25日(日) 名古屋別院親鸞聖人降誕会

31日(土) 納骨団参

春の法座 《永代経法要》

4月26日(土) 午後1時30分「仏説無量寿経」

4月27日(日) 午後1時30分「仏説観無量寿経」
「阿弥陀経」

法話 西尾市 小野線信師

納骨団参のお知らせ

懐かしき面影、様々な思いを胸にいただき、

ご本山西本願寺と、大谷本廟への納骨参拝を致します。

ご参加の方は、お寺までお申し込み下さいますようご案内申し上げます。

日時 5月31日(土) 午前8時集合

参加費 6,500円

中学生まで 3,000円 幼児無料

昼食無しは 5,000円

締切 5月15日まで 但し40名になり次第

締め切らせていただきます

門徒推進員会合

門徒推進員会合の後高田本山専修寺に参拝しました。昼食の後、ゆっくり御影堂で参拝、丁度如来堂では「涅槃図」が奉獻してあり、絵解きが行われていました。「いいご縁に合わせていただいた」と話つつ御廟所へ、新しいであいの1日でした。



教区・鈴鹿組関連

4月20日(日)13時30分～ 鈴鹿組運営委員会
常信寺にて

5月6日(月) 鈴鹿組組会 関ロジ



支援ネットワーク 頑張っています!!!!

5月に2度、お米配布支援活動に向かうこととなりましたのでお知らせします。



【日程・活動内容について】

① 5月15日(木)～16日(金) 配布対象: 互理町公共ゾーン仮設住宅の約400世帯。

② 5月29日(木)～30日(金) 配布対象: 福島県会津美里町仮設住宅の約150世帯・福島県二本松市大谷派真行寺「青空市場」へ約100kgのお米の運搬。震災支援を続ける会の炊き出しと平行して配布活動を行います。 員弁組 草薙さんより

鈴鹿組 親鸞聖人・関東ご旧跡巡拝と福島復興支援 絆の旅 出発午前5時・到着20時

26年6月23日(月) ～25日(水) 2泊3日 茨城県西念寺栃木県専修寺 飯舘村・波江町・会津

まだ、募集中ですのでご参加下さる方は申し込み存仁寺まで